

No. 28

東京都立竹台高等学校同窓会会報
〒116-0014 東京都荒川区東日暮里 5-14-1

編集と発行 = さつき会

さつき会 ホームページ

<http://www.竹台さつき会.com>
www.takedai-satsukikai.com

(パソコンの機種によって漢字アドレスが検索できない場合、英文アドレスを使用ください)



平成30年9月若竹祭での中庭

平成30年度のキャリア開発設計講座は計画通り無事提供することができました。講師をご担当いただいたOB・OG、常任幹事・役員、PTA会長・役員の皆様、八百板校長はじめ進路指導担当、関係教職員の皆様、経営企画室の皆様など、関係者の皆様には心からお礼を申し上げます。

昨年6月からは新校舎建設が始まり、八百板校長・諸先生方、在校生の皆様にとつては、これから数年は学校生活でご苦労されることとなりますね。当然キャリア講座も会場・開講方式を再考しなければなりません。30年度に開講したキャリア講座（出前授業）は下記の通りです。



3年生向キャリア開発設計講座

「誰でもいつかは仕事に就く」

平成30年4月11日(水) 10:40～12:00

ポイント・インタビューシップ体験者発表とQ&A

卒業後の仕事生活、実社会が求めている専門性、ありのままの自分とあるべき姿の自分

2年生向キャリア開発設計講座

1. 働き方を考える「仕事に就く」

平成30年6月13日(水) 13:40～15:10

(体育館開催)

① 自営かサラリーマンか、公務員か民間企業か、29年度受講生レポートから

② 職業分野紹介 製造業、商業・サービス業



2. 働く場 そして働くこととは

平成30年10月3日(水) 13:40～15:10

(6クラス同時開催)

働くこととは、学生と社会人の違い、社会が期待する人材と能力、なりた職業・希望する職業に就くためには、社会人の基本常識とマナー、労働に見合った「報酬・福利厚生・昇給・昇格・昇進など」

1年生向キャリア開発設計講座

「OB・OGによる課外授業」

平成30年12月20日(水) 9:40～11:30

10講座を開講し、1時限目と2時限目で興味関心のある二つの分野を選択して受講できる仕組みです。

* 講師は原則1時限目・2時限目共に同一講座を受け持ちます。

① 美容関連分野

② 調理師・料理・飲食サービス・パティシエなどの仕事と有効な公的資格取得

③ IT・情報通信・ソフトウェア開発分野

④ アパレル・ファッション・接客販売分野

⑤ 音楽関連分野

⑥ 幼児教育関連分野

⑦ 学校教育関連分野

⑧ 公務員(消防)分野

⑨ 公務員行政職分野(1時限目だけ)

⑩ 特別講座・コミュニケーション

(2時限目だけ)

学校運営連絡協議会レポート

本校の新校舎改築も体育館の取り壊し工事の開始とともに具体的なイメージが湧いてきました。特に近年はより良い都立高校の教育環境を確保することはもとより、普通高校の有り方や進路についても多様化が求められています。おかげさまで本校も統廃合の話題から新校舎改築に変わりました。

この改築は、荒川区の唯一の都立普通高校として特色ある校風とその存在を区民、都民の皆様にあピールする絶好のチャンスであり、都内の中学校への積極的なPRにより希望者をより一層増やす必要があります。

協議会では、各学年の担当者から生徒の在籍数の報告があり、1学年2224名、2学年2333名、3学年2122名が在籍していることが報告されました。

また、進路の決定では、67名(大学・短大21名、専門学校等36名、就職10名11月現在)と進路決定が遅い傾向が見られました。学校説明会では、7月から12月まで積極的な活動が行われ多くの保護者にPRが行われた。

本校は、地元の災害一時避難場所として活用され、消防署による生徒への防災安全教育など積極的な取り組みが行われている。校内での防災宿泊なども実施の報告や具体的な避難訓練の方法などについて説明が行われた。

さつき会の皆様、保護者の協力による各学年別生徒へのキャリア教育の授業を実施したことについても報告があり、来年度の積極的な取り組みについても話題となりました。

会員の皆様のご意見や提言を積極的に協議会に反映させていただきまますのでご協力のほどよろしくお願ひします。

【平成30年度竹台ファン ド収支報告】

さつき会、PTA、後援会共同出資による竹台ファンドの今年度の活用状況を、別表の通りご報告致します。

月日	項目	収入	支出	残高
	前年度繰越	0	0	1,280,909
H30.08.20	預金利息	6	0	1,280,915
H31.02.18	預金利息	6	0	1,280,921
	計	12	0	1,280,921

同好会「古典を読む会」ご案内

2019年、古典を読む会開催日程です。本年の題目は「井原西鶴」です。

2019年予定			
7月	6月	4月	
27日(土)	29日(土)	1日(土)	20日(土)
12月	11月	10月	9月
14日(土)	9日(土)	12日(土)	7日(土)

※時間は全て14:00～16:00です
 ※5月と8月は休講です。
 ※変更が生じた場合ははがき又は電話にてお知らせいたします

会 場：日暮里ラングウッドホテル5階
 お問い合わせ：村山 武男

TEL 048-259-5802
 高橋 純子
 TEL 0289-74-5824
 携帯 090-5566-6216

竹台オープンゴルフコンペのご案内

2019年秋第9回を開催いたします。
 最初は2010年くらいからバレーボール部の仲間たちとゴルフコンペを行っていました。バレー部以外の人たちの参加も増え、参加人数も多くなってきました。

そこで『竹台オープンゴルフコンペ』と名前を付けて、2015年12月からスタートいたしました。最初の参加者は19名。以降春と秋に開催しており、前回2018年秋には参加者34名と回を重ねることに参加者が増えています。現在38才～61才までの卒業生、そして体育科で教えていただいた新井幸吉先生にも参加いただいております。女性の方も多数参加されています。今回は本年秋に開催いたします。参加資格は、竹台高校に在籍していた生徒・先生です。多くの方々にご参加いただき、さらに楽しい会にしていきたいと思っております。

ゴルフ好きな皆様、是非ご参加ください。
 会長 杉原 仁 (昭和51年卒)
 副会長 安西雅博 (昭和52年卒)
 連絡先 hori@ccheers
 事務局 堀 健一 (昭和54年卒)
 チアーズ株式会社
 TEL 03-3526-6471

「若竹祭」さつき会出展報告

平成30年9月22～23日の竹台高校「若竹祭」に、現役生徒・入学希望者・保護者・卒業生への「さつき会」PRのため、直近5年連続、教室では4年連続で北校舎1階3年1組教室にて、次の内容で出展しました。

①さつき会紹介及びOB・OG著名人、さつき会会報「躍動する仲間たち」のパネル展示

②プロジェクター・PCによるピカチュウ・チョップバー、名探偵コナンの光彦などの声優でOGの大谷育江さんの動画紹介

③OB加藤和彦さんの「帰って来たヨッパライ」「イムジン河」などのCD演奏

④さつき会70周年記念誌の展示、会報バックナンバー展示・配布

⑤無料休憩所として、飲み物(缶ジュース・缶コーヒー等)、お菓子の無料サービス

初日は、開会式などが校舎建替えによる体育館取り壊しによりサンパール荒川で行われたので受験予定の中学生と保護者が中心でした。翌日は在校生を中心に昨年より多く延べ300人位が訪れ、休憩に来たり、飲食しながら展示パネルや動画を観たり音楽を聴いたりして、まったりと楽しんでいました。

さつき会出展教室は、完全に浸透・定着して集客出来て成功でした。校長、副校長、PTA会長、竹友副会長も訪れてくれました。

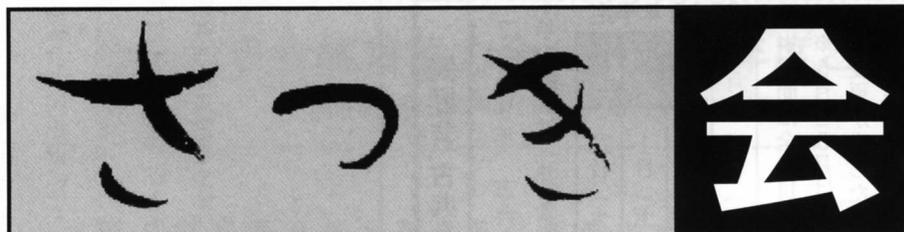
今回、手伝ってくれた新卒の原田さんは、同期や後輩と仲良く会話してました。

これを読んでも、まだ来た事がないあなた、是非いらっしゃってください。

(出展担当：米花、関口、原田)



第74回



今年は、5月26日(日)に 「上野精養軒」で開催します。

毎年5月の第4日曜日恒例の「さつき会」総会・懇親会の季節がやってきました。
 メインアトラクションは、高校29回(昭和52年)卒 納富恵子(旧姓人見)さんの音大出身の
 息子のグループ「SAXTETRA」によるSAX四重奏の演奏です。
 皆さま、お楽しみに！



SAXTETRA

塚田 智 Soprano & Tenor sax
 相原雅美 Alto sax
 安川信彦 Tenor sax
 納富 麦 Baritone sax
 HP : <https://mugi-sax.jimdo.com/>

ヤマハ講師の塚田を中心に2017年結成。
 サックス4本のみでジャズ、ポップス、歌謡曲、クラシック、などジャンルを問わず演奏して
 いる。都内を中心にライブ活動しており、凝ったアレンジを再現することも、譜面にとら
 われない即興的なコミュニケーションも好評である。

日時

2019年 5月26日(日)
 11:30 受付開始
 12:00~16:00 総会・懇親会

会場

上野精養軒 3階「桜の間」
 東京都台東区上野公園 4番58号
 TEL 03-3821-2181

交通

- ①JR上野駅公園口…徒歩5分
- ②京成上野駅……………徒歩5分
- ③地下鉄上野駅……………徒歩5分

会費

一般 8,000円 新卒 1,000円
 2016年~2018年卒 4,000円



※お車でお越しの方、未成年者の方は、アルコールご遠慮ください。

第73回さつき会総会・懇親会報告

平成30年5月27日(日)に、毎年恒例のさつき会総会・懇親会が、上野精養軒にて109名が参加して開催されました。

29年度事業・決算報告、30年度事業計画案・予算案の承認、転出・転任職員報告などの総会后、お待ちかねの懇親会が盛大に行われ、各同期のテーブルで飲食しながら楽しく会話がはずみました。



その後、山手線シャッフルビンゴ大会という自分の好きな山手線名をビンゴカードに書き込む珍しいビンゴを事前に配布した席へ移動して行い、世代を超えたテーブルでの交流に大いに盛り上がっていました。

恒例の駄菓子コーナー・CDプレゼントも好評で、校歌・エールでしめた後は、各自二次会を楽しみに行きました。

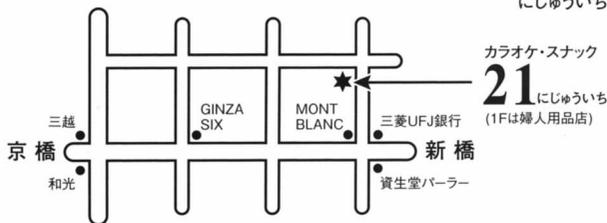


さつき会拡大幹事会 開催のお知らせ

5月11日(土) 14時～16時、5月18日(土) 13時～16時に、竹台高校にてさつき会拡大幹事会が行われます。学年幹事で参加できる方は、ご参加下さい。(交通費支給)

お問い合わせは、メール(yo@k035@hotmail.com)にて、米花(よねか)まで。

カラオケ・スナック **21**
にじゅういち



川崎 裕子
(昭和38年卒)

東京都中央区銀座7丁目9-10
銀七ビル2F
電話 03-3574-0609

躍動する仲間たち

〔シリーズ12〕

「広く良質な友だち関係、人間関係を作っていったほしい。」

—ジェンダー平等や性の多様性を広めたい—

西山千恵子さん（高校29回卒）

その考えの原点は明確に高校時代にある。大学の講師としてジェンダー論を教え、男女共同参画の活動を行っている西山千恵子さんに、語っていただきました。

①生い立ち／小・中時代

1958年、足立区千住の商店街で生花店を営む両親のもと、4人姉妹の4女として生まれました。幼少期からマンガ雑誌に囲まれ、小学生の頃は毎週発売日に父からお小遣いを渡されて本屋さんに「少年マガジン」など4誌を買いに走り、家族で回覧していました。屋外でも暗くなる時間まで遊び回っていた元気な子どもでした。

中学は御徒町中学に進学、私と同様、越境入学の生徒たちが多くいました。その中に早熟で読書家の同級生がいて、同じ電車によく乗り合わせては大人びた文学や思想についての話をしてくれました。良い影響を受けたと思います。

三年生の受験期には母が病気で寝つき、呑気な父は私の受験のことはすっかり忘れていた様子。そのため受験願書は自分で提出し、都立高一本に絞りました。学力テストは学年上位でしたが内申点が振るわず、手堅く当時の91郡を受験し、竹台高校に決まったのです。

人、そのうえ専門を変更する進学だったので、「異色」と呼ばれていたそうです。

文化人類学の教授の研究室に入り、これであと2年は就職を先に延ばせるな、と思っていたら、その教授から「あなた、大学院には就職したつもりで来てちょうだい」と言われてしまいました。ギャパン、といったところです。

お茶大での研究会では、若手から古参まで女性研究者たちがざらりと並び、闊達に議論していました。その光景には目を見開かされ、とても良い刺激になりました。こんな職業モデルがたくさんいる環境が若い女性たちにもっと与えられるべき、と今でもつくづく思います。

⑤大学院修了後／現在

修士修了後はお茶大の女性文化研究センター（現・ジェンダー研究所）に所属しながら、母校の千葉大学ほか大学非常勤講師として教壇に立ち始めました。以来、ドラドラと今日に至っています。2年ほど前、ある大学でのデートDVを扱った授業で、ゲスト講師の映写した資料映像が竹台生による自主制作の啓発DVDだったことがわかり、驚いたことがあります。教員生活の中で後輩たちの活躍を知ったうれい



西山千恵子（にしやま・ちえこ）さん

高校29回生昭和52年卒

1958年4月12日東京都足立区生まれ

1977年 竹台高校卒業（第29回）

1983年 千葉大学教育学部卒業

1987年 お茶の水女子大学大学院家政学研究所 家庭経営学専攻修了

1989年 国立婦人教育会館・女性学国際セミナー参加

1991年 千葉大学ほかの非常勤講師を開始

1992年 東京都台東区女性総合プラン策定会議委員（学識）

1993年 東京大学教養学部相関社会科学 第5回シンポジウム参加

1996年 ヨーク大学フェミニズム研究センター 国際女性学会議参加

1999年 千葉県白井市男女共同参画推進懇談会委員（学識・会長）

共著・共編著に「ビデオで女性学」有斐閣（1999年）、「暴力とジェンダー」白澤社（2009年）、「首長たちの挑戦—女が政治を変える」世織書房（2016年）、「文科省／「妊活」教材の嘘」論創社（2017年）など、共訳にアン・ファウスト・スターリング著「セックス／ジェンダー—性分化をとらえ直す—」世織書房（2018年）。青山学院大学、慶応義塾大学、聖心女子大学などの大学講師として女性学やジェンダー論を教え、現在に至る。

②高校時代の活動／想い出

当時の自由な校風には感謝しています。1年生のときは「日本のウッドストック」といわれたロック・コンサート「ワンステップ・フェスティバル」に中学時代の友人と出かけ郡山市で1泊し、内田裕也、矢沢永吉、オノ・ヨーコ、加藤和彦らの音楽を浴びてきたのが忘れられない思い出です。

また米国留学に挑戦しようと、AFS日本協会の試験を受けました。英文法の先生から「英文法が大事」と助言をうけ、みっちり勉強したところ、試験問題はリスニングや「〇〇市は何州にあるか？」といった問いが中心。あえなく敗退しました。

2年生からは新聞班に入り、性差別を含めて社会問題について考えるようになりました。文化祭では「家庭女子のみ必修」や「若者の性」をテーマにし、また友人たちは部落差別に関連した映画の上映に取組みました。映画上映には反対する先生もいて対立、その先生は私の夢の中にまで登場し、激しく言い争い、夜中にうなされたことを覚えています。

この出来事から、ある女子生徒がクラス討論の場



同期の仲間たちと恒例の「新春手打ちうどんの会」 右から3番目が西山さん

出来事でした。

このかん、ジェンダー平等、LGBTなどの多様性に関わる活動も行ってきました。その中でも「高校」に関係している活動を紹介します。

2015年夏、内閣府は少子化対策として、文科省発行の高校保健体育の副教材「健康な生活を送るために」を改訂、全国配布しました。ところがその教材には、生徒たちに早く妊娠・出産するよう圧力をかける

「部落民宣言」を行い、それを契機として竹台高校は人権課題に積極的に取り組み始めたということです。

このころ、義兄が文学や演劇に傾倒していた関係で、団塊世代の芸術家たちとの交流があり、現代美術にも触れました。その中には著名な若き日の十五代樂吉左衛門さんもいました。いろいろな価値観や生き方を学び、人生観が広がった時期でした。

③大学進学—とにかく親から自立したかった

受験勉強はまったくしなかつたので大学は全て不合格に。1浪後、文化人類学を学ぼうと埼玉大学教養学部を受験し、失敗、しかし千葉大学教育学部に拾われ、充実した学生生活を過ごしました。ただ、父親が門限に厳しく「従わないとカネの援助はしないぞ」と脅すので、「望むところだ」とやり返し、2年生からは家庭教師や塾講師をして学費含めて経済的な自立を果たしました。パンザイ。

4年生になると家を出たい気持ちになり、知人女性がレングブロックを積み上げて文字通り「自分で建てた」家を半年ほど借りて住みました。浴室以外はトイレも含めて個室やドアが一切ない、しかし、グランドピアノやサニールームのある不思議な空間でした。そこから本格的な独立生活が始まったのです。

④迷ったすえ大学院へ進学

卒業を控えた時期になっても自分の進む道が見えず、物分りのよい教授に「留年したので単位を落としてください」と頼み込み、留年して親不孝をしかしました。（こ両親さま、ごめんなさい）。翌年は専攻生としてさらに1年大学に残りました。

このころには大学院への進学を決め、自主ゼミに参加しながら英語の本を毎日読み続けました。

当時、女性の視点から既存の学問を洗い直すことをうたった「女性学」という分野が日本でも広がり始めており、その研究ができるお茶の水女子大学大学院家政学研究科に進学しました。学外からの合格者は私一人。改ざんグラフや誤ったデータ、記述が散りばめられていました。この状況に危機感を抱き、研究者の仲間たちと集会を開催し、内閣府・文科省に対して内容の訂正を求め、その経緯を「文科省／高校「妊活」教材の嘘」（論創社2017年）という本にまとめました。

この活動・出版を通じて、いくつかの講演会に呼ばれました。一昨年11月開催の立教大学ジェンダー・フォーラムでは200人の階段教室で女子高生を演じてコスプレで登壇、会場を沸かせ（引かせ）ました。人生後半、どんどんハジけて行きたい心境です。

⑥若い同窓生・生徒たちに贈る言葉・アドバイス

まず、広く良質な友だち関係、人間関係を作っていくてほしい、という言葉を贈ります。私の場合は仕事や研究、活動を通して信頼できる友人たち、尊敬すべき研究者などの方々と出会い、関係を育んできました。また最近では高校同期たちとの交友を重ねています。それらのつながりから多大な恩恵を受け、生活を豊かにしてもらっています。

もう一つ、例えば自分の専門でいえば、先進国にもかわらぬ日本の男女格差を示す指数は世界110位という低さです。「日本の常識は世界の非常識」であることがよくあります。目の前の「当り前」にとらわれず広い視野をもつようになりたいものです。皆さんの長い良き人生をお祈りします。



2017年11月13日 立教大学ジェンダー・フォーラム会場にて

高校15回生（昭和38年卒）同期会

上野の森もやや色づき、空も天高く澄み渡る初秋の一日、平成30年10月25日（木）第8回15回生（昭和38年卒）同期会を上野精養軒で開催しました。近年は2年毎に開かれ、平成26年第6回同期会では「人生の節目を元気で古希迎えることに感謝して」。平成28年第7回は「6回目の年男、年女を迎えることに感謝して」。今回第8回は「卒業55年 人生まだまだGO!GO!」。今回は前回並み36名でしたが毎回このキャッチフレーズの下に参加いただき、楽しく青春を取り戻し、余生の生き甲斐にしています。毎度恒例の母校の校歌の合唱から始まり、楽しく語り、美味しい料理をいただき、旧交を暖めることができた3時間でした。ただ話題の中心は両親や子供や孫のことより本人や奥さんの健康の事に移りました。もう皆の歳も70の半ばです。最後も恒例の舟木一夫の「高校3年生」を元氣よく合唱しました。まさにこの歌は私たちの世代の愛唱歌です。二次会はまた恒例の同期川崎さんのお店銀座「スナック21」に大勢集まり、会話やお酒、カラオケを興じ、楽しい素敵なお出に残る一日でした。

今回は平成32年ではなく2020年に第9回同期会を予定しています。今回お出で頂いた方は勿論、参

加を見合わせた方々は竹台同窓会会報「さつき」をご覧になりましたら是非お越しください。お待ちしております。同期会が続けられるのも會長藤井さんをはじめ幹事の皆さんのお陰です。ご苦労様でした。

家泉英世・記



ご協力を得て、夏休みに入ってから7月24日、根岸の笹乃雪で食事会を行い、その足で校舎見学をさせてもらいました。

会には69名が参集、そのほとんどが50年振りの再会となりました。「懐かしく、とても感動的な会になりました。まだまだ気分は青春時代です」「すぐに学生時代にタイムスリップ。思い出話に花が咲きました」「高校時代に思いを馳せることが出来ました」——などの声が寄せられています。なお、余った会費7,350円は、維持協力金としてさつき会に寄付させていただきます。（写真は正門前での記念写真）

菅家（かんけ）

「高校20回・50年振りの同期食事会

昨年は我々にとつて、卒業後50年の節目でした。一方、高校の校舎は建替えを控えていました。そこで、

この節目の年に、同期会と校舎見学を同時に行うべく同期食事を企画しました。そして、高校のご理解と



高校29回（昭和52年3月卒）同期会開催のお知らせ

平成18年11月11日（土）、24年2月4日（土）、28年11月12日（土）と約100名を集めて開催してきた昭和52年3月卒同期会ですが、全員還暦になった記念として今年秋に開催することになりました。

日時・11月23日（土祝）17時～19時
場所…

GRANBLANC（グラン・ブラン）

東京都中央区銀座1・5・10

銀座ファーストファイビル10F

TEL 03・6228・6373

（平成24年と同じ場所）

前回同様、幹事よりメール・電話などで連絡が行くと思いますが、よろしくお願ひします。

問い合わせは

【メール】yoineko35@

hotmail.com

【電話】070-55564-8165

米花（よねか）まで。



平成30年度の決算状況について

決算日は3月31日ですが、平成31年2月28日現在の決算状況を下記の通り報告します。

平成30年4月1日～31年2月28日実績(単位:円)

		30年度予算	実績	予算差
収 入	前期繰越金	2,086,384	2,086,384	
	新会員入金	800,000	456,000	-344,000
	受取利息	100	5	-95
	総会参加費	1,000,000	888,800	-111,200
	会報広告費	70,000	71,600	1,600
	さつき会維持協力金	1,800,000	2,154,950	354,950
	寄付金		3,000	3,000
収入合計		3,670,100	3,574,355	-95,745
支 出	通信費	1,000,000	867,631	132,369
	会合費	20,000	2,280	17,720
	総会費	1,200,000	1,008,598	191,402
	慶弔費	50,000	10,000	40,000
	会報等印刷費	800,000	797,860	2,140
	会報編集費	60,000	0	60,000
	交通費	450,000	300,000	150,000
	事務費	20,000	14,404	5,596
	後援費	250,000	198,278	51,722
	同好会費	60,000	53,500	6,500
	雑費	10,000	2,046	7,954
	さつき会維持協力金手数料	50,000	44,950	5,050
	キャリア教育支援費	150,000	32,400	117,600
	若竹祭出展費	60,000	44,076	15,924
仮払金		100,000	-100,000	
支出合計		4,180,000	3,476,023	703,977
次期繰越金		1,576,484	2,184,716	608,232

(残高内訳)

小口現金	104,940
普通預金	463,183
ゆうちょ銀行	616,593
定期預金	1,000,000
合計	2,184,716

*先決算状況は平成31年2月28日現在の中間報告です。

最終決算は5月26日(日)総会にてご報告いたします。

会 計

大塚 京子・関口 希枝子

備 考

キャリア教育支援費 132,400 円の
内PTAよりの支援金 10 万円有り

会員の皆様へ「さつき会維持協力金」「母校後援活動費」ご協力をお願い

平素より、さつき会活動に対しご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。さつき会は、卒業時の入会金と毎年ご協力戴いている維持協力金で運営させて戴いております。近年は、従来の同窓会活動に加え、母校の発展を目指した現役生徒向けキャリア教育講座、課外授業の開設等、後援活動も積極的に推進して参りました。しかしながら、各種後援活動には多額の経費が必要となっております。後援活動の継続等、現状ご理解いただき今まで以上の会員の皆さまのご協力をお願いする次第です。

(記)

維持協力金：一口 2,000円 使 途：さつき会活動継続・維持のため

お 振 込 先：東京都立竹台高等学校同窓会さつき会事務局

お 振 込 方 法：同封の振込用紙でお近くの郵便局よりお振込ください。(手数料無料)

なるべくATMのご利用をお願い致します。

◆ お振込期限は限定いたしません、4月末日までにお振込いただければ幸いです。

◆ 5月26日(日)の総会・懇親会会場にてもお受けいたします。

道の駅で買える! 味わえる!

ZENRIN

ご当地ならではのグルメ情報

道の駅
旅案内全国地図

2019
年度版



全国の道の駅・書店・インターネット(Amazon.ZENRIN Store)にて好評発売中! **ゼンリン 道の駅**

お問い合わせ先/ゼンリンカスタマーサポートセンター
☎ 0120-210-616 受付時間:月~土 9:30~17:30 (祝日・弊社指定休日は除く)

※携帯・PHSからもご利用いただけます。
※IP電話などの一部電話機ではご利用いただけません。

DESIGN

DTP

SCANNING

PRINTING

感動の文章

美しい色の世界を

あなたのお手元へ

印刷のご用命は

有限会社カラールクス

〒110-0003 東京都台東区根岸5-12-12

Tel. 03-3871-7273 Fax. 03-3871-7274

E-mail colorlux@jcom.home.ne.jp

さつき会維持協力金 平成30年度ご協力者

(敬称略) 平成30年3月1日～平成31年2月末日現在

高女第1回	高女第2回	高女第3回	高女第4回	高女第5回	高女第6回	高女第7回	高女第8回	高女第9回	高女第10回	高女第11回	高女第12回	高女第13回	高女第14回	高女第15回
小俣 美喜子 清水 洋子 土屋 立子 佐藤 節子 土屋 みち江 齊藤 富士子 譲原 節子 須田 ひさ子 小澤 筆子 永井 幸子 千葉 正子 森山 貞子 牧島 正子 種村 郁子 岩松 多恵子 名取 ひで子 櫻井 久巳 新井 敏枝 横式 かつ 戸笈 国子 青木 和子 荒城 知子 唐沢 順子 森 惇子 橘 喜恵子 松本 八重子 出井 依玖子 半田 弘子	増子 洋子 山本 智代 小竹 和子 石黒 侑子 辻村 セツ 井上 久子 手塚 英子 中道 恭子 中村 瑞子 関口 敬 山本 昌子 後藤 リラ子 道城 寿子 大嶋 綾子 福山 しづ子 小林 房子 石井 一子 酒井 容子 吉川 道子 井上 良江 松田 美智子 勝野 千枝 齊藤 俊子 小野 美代子 川澄 幸子 飯村 恭子 高野 安子 鈴木 道子 鈴木 道子 鈴木 幸子 鈴木 幸子 太田 初枝 金井 喜久子 原 すみ子	若林 紀世子 鈴木 光子 高村 みつ子 小原 和美 大矢 淑子 佐藤 美代子 松本 春江 小泉 喜美子 羽成 良子 桑田 忠幸 藤岡 治 中津 攸子 高島 敏子 篠原 敏子 青木 耀子 平木 弘道 角田 春雄 齊藤 藤枝子 鶴岡 豊子 加藤 允子 小山 量恵 吉富 保子 三輪 豊子 小松 陽子 中川 弘子 下部 千江子 田畑 凱子 片山 晴美 新井 宏 今村 禧子 大野 トシ子 野々村 順子 室伏 知江子	鈴木 公子 小林 由典 平山 幹夫 横関 洋子 関口 静子 小柳 和子 三保 裕子 小林 佐知子 飯塚 定代 関 富美子 久米 泰好 綿貫 嘉子 村山 武男 石川 嘉代子 荒居 澄子 久保 治子 岡本 秀一 大竹 和子 狩野 晴勇 軍司 桂子 米林 慶子 木村 正明 鈴木 久夫 加藤 和子 石川 清子 嘉多山 博子 中野 雅子 高橋 潤一郎 小林 潤一郎 口分田 たけ美 山崎 京子 伊藤 光行 小島 和子 上村 富美子	宮崎 佐久恵 岸 義男 小島 和子 早川 歌子 五十嵐 國子 岩上 順子 望月 澄子 谷口 明子 石川 恵子 板橋 一江 高橋 俊夫 軍司 俊夫 高倉 昭子 中村 武彦 藤 吉裕 鈴木 敦子 大谷 秀子 藤井 節子 橘 園江 森 明子 間根山 健 松島 喜美子 笹部 厚 佐藤 和子 清水 貞子 山本 洋子 川津 恵寿 水尻 壽美子 大倉 昭子 石川 富貴子 伊藤 和枝 柴崎 美智子 桜井 広子	高橋 正勝 田沼 ひろ子 加藤 善規 工藤 延夫 水澤 慎 山谷 八英 坂神 敬子 和久井 淳子 石川 久代 足立 雅子 小沢 方子 荒沢 房子 岩田 映子 松沼 敏子 神保 勝一 市川 捷美 伊藤 紘一 永澤 慶雄 浜中 博義 三橋 三津枝 藤田 文子 松島 多映子 石山 雅之 加藤 脩 橋本 隆夫 原田 武博 山下 孝子 安田 信子 小早川 洋子 国分 伸枝 滝口 彰子 板倉 訓子 笹嶋 武子	西須 和江 寺尾 賜恵 久米 和子 川又一郎 坪内 隆志 長田 宣義 竹田 和子 石橋 忠男 滝川 義明 比屋根 泰夫 邊見 一夫 尾島 幸也 渋谷 哲男 北川 愛子 田中 弘子 吉田 和子 遠藤 愛子 柿沼 美子 木村 照子 小沼 靖子 金子 末江 小林 マサ江 小林 恭子 若尾 ノブ子 鈴木 明子 町田 朋子 中川 ノリ子 牛込 久枝 荒谷 節子 久保 比早子 大泉 俊枝 高橋 和光 小野寺 功 黒石 昭	関矢 綾子 川上 典子 島崎 七枝 金井 朝子 増田 寿美子 山上 幸邦 石井 俊子 中村 稔 高木 幸子 国枝 美代乃 藤山 文江 新田 喜一 杉本 紀美代 佐藤 加代子 山上 正代 山田 サヨ子 大江 光子 沖 昭子 山田 てる子 吉本 茂子 青木 泰正 家泉 英世 鈴木 保元 武井 和雄 佐藤 弘子 山木 榮子 遠田 薫 藤井 昌子 山住 和子 藤井 一江 松井 光 田淵 和光 川北 美保子 田中 照子							

岩田 春江	田辺 英也	牧野 美恵子	高校第23回
高橋 純子	角田 光男	草間 良秀	松井 良一
川崎 裕子	村田 迪夫	黒木 俊男	高田 知幸
富士 みち子	藪 光雄	福澤 寛	守川 洋
新井 喜久代	小此木 良之	細谷 光廣	森本 真紀子
古田 久子	大竹 藍子	永田 洋子	坂本 憲子
高校第16回	山崎 孝子	小出 さよ子	松本 恵
山田 昌春	伊藤 百合子	中西 京子	高校第24回
沼田 豊子	鈴木 正子	佐久間 智秀	田柳 和夫
岡田 進	三井 和子	堀井 昇	割沢 佳公子
中村 久子	小田嶋 愛子	大島 美砂子	春山 成子
西尾 利子	長柄 恵美子	関口 孝子	二瓶 眞喜
飯山 茂	高校第19回	宮城 幸子	陶山 秀夫
黒田 博万	野中 久行	黒川 幸子	仁田 順子
小林 祐子	吉田 茂	加藤 栄子	高校第25回
山口 ヒロ	細田 榮一	石川 典子	波木 恵子
高校第17回	常川 京子	黒木 みよ子	新栄 宏茂
石井 宏	老沼 八重子	日隠 純子	西川 則夫
柏倉 世一	助川 康子	第20回有志	佐久間 淑子
吉田 勝彦	高島 延子	高校第21回	梅田 照代
徳増 俊夫	高校第20回	居川 光男	進藤 英雄
栃木 武夫	上野 彰	古性 美恵子	立田 研次
師岡 隆二	梶間 幸一	浦野 喜代作	富田 昭彦
華井 佳世	鈴木 喜治	小島 博	高田 千鶴子
高校第18回	仙石 慶一	矢部 信敬	原 輝美
雲野 紀雄	吉住 実	久保 和子	田口 昌男
竹田 和俊	市川 喜一郎	宇都木 丈夫	芳賀 高範
土屋 治	小沼 恵一	斉藤 由美子	高校第26回
江川 広司	松本 裕子	高校第22回	飯島 教夫
小熊 誠	菅家 誠壹	外立 喜三郎	大塚 淑孝
前田 芳甫	竹村 祥	駒村 八重子	長田 清忠
水澤 正	永田 清	藤本 順子	永井 朋輔
岡安 昭夫	細谷 美枝子	高橋 清彦	松野 洋介
本多 清	大塚 京子	中瀬 須美江	山田 純稔
高木 甚蔵	磐田 利江子	阿部 静子	協 範人

維持協力金ご協力御礼
「さつき会」維持協力金ご協力ありがとうございました。
今後の「さつき会」の活動に活用させていただきます。
尚、お名前、卒業回等間違い等ございましたら、ご連絡ください。
(振込用紙への記入あるいは、はがき等にて竹台高校気付「さつき会」宛送付ください)

ご宴会 ご婚礼 ケータリング
(レストラン)
グリルフクシ カフェランランドーレ



明治の文豪がこよなく愛した伝統のお料理と
不忍池を見渡す開放的な空間で
本格的なフランス料理をお楽しみください

上野精養軒

〒110-8715
東京都台東区上野公園4番58号
TEL 03(3821)2181(代)
http://www.seiyoken.co.jp

武田 眞吾	高校第29回	秦野 泰嘉	高校第42回
須賀 栄枝	安西 雅博	高校第33回	田中 正紀
松山 敦子	清水 紀久雄	海老名 泰孝	高校第43回
湯浅 千恵子	藤田 佳久	松谷 範子	齊藤 美和
和泉 良雄	榑淵 和則	石川 重経	高校第44回
加藤 直実	大久保 砂子	新井 智顕	新井 丞
井上 妙子	関口 有子	高校第34回	川井 大三
高校第27回	天澤 邦子	西田 安司	三浦 一寿
赤塚 明	松園 伸子	山田 茂博	松川 圭
渡辺 伸一	関口 希枝子	牧野 智恵	高校第45回
佐倉 清美	大和田 謙一	森 ゆかり	齊藤 昭彦
高校第28回	小石 尚英	高校第35回	荒井 将吾
茂出木 祥高	宮谷 勝己	日原 順二	溝口 徹郎
池野 恵	米花 和宏	五十嵐 友明	高校第48回
中西 昭	渡邊 一	高校第36回	佐野 高輔
服部 法照	高校第30回	小山 知紀	高校第50回
安田 恭子	増田 哲也	加藤 美枝子	細谷 光慶
高安 逸生	横井 広美	高校第40回	高校第52回
三原 富士子	奈良井 知子	金田 雄一	平山 かおる
下山田 千栄子	高校第31回	高校第41回	高校第53回
山崎 康信	鍵山 君江	水澤 謙二	堀井 康次
吉川 昭二	安達 博保		

梅澤 功
高校第59回
花澤 健一
高校第65回
秋元 昌範
中野 勝治
高校第66回
中野 幹士
高校第69回
松本 まゆ
以上461名
その他匿名16名

新人現況報告

原田 唯可

(高校70回平成30年3月卒)

竹台高校を卒業後、草苑保育専門学校に進学しました。小さい頃からの夢である保育士になるため、日々勉強に励んでいます。今まであまり深く学んでこなかった保育や法学という分野に苦戦しながらも、専門学校の先生と友達のお陰で充実した毎日を送ることができています。さらにピアノや、公務員試験に向けて頑張っています。

現高校生の皆さんに伝えたいことが2つあります。

1つ目は、人生は一度きりです。今しかできない事があります！今しかできない事を、一生懸命やってください。

2つ目は、私は高校に入学してから、今まで何事にも挑戦してきました。人前に立つ事が苦手だった私ですが、生徒会活動や委員会をやることで苦手から自信に変わりました。なので、「最初から出来ない！と決めつけないで、まず1回やってみてください。そしてたくさん失敗してください。」

たくさん失敗することで、成長することができると思っています！頑張ってください。



アフメド アリアン

(高校70回平成30年3月卒)

ある日の朝、僕はいつも通り竹台へと登校した時、黒板に書いてあった2文に圧倒されました。その文は自分の高校の過ごし方を教えてくれ、今も毎日のように自然と意識しながら過ごし、これからも自分にとって大きな要となると思っています。その2文というのは、「勉強は暗記だけど、学問は創造だ」。すっくと入りました。(笑)

僕は今、早稲田大学国際教養学部に通っており、ある特別なプログラムの下、英語で様々なものを学んでいます。何学んでいるのって聞かれると困るぐらい、様々です。簡単に言えば、一つのことを複数の視点から見ると、それがどうできているのか、より立体的に捉えるということかな。でもそんな大学に入るにはある意味簡単ではなかったです。それは周りの「普通」に当てはまらなかったからです。竹台から日本有数のトップの早稲田は厳しい、現実味がない。そんなことありません。自分を信じてみてください。物事に意味を与えるのは自分です。がんばってください！



@hahmedaliyan



社会貢献度の高い、土地の有効活用法
時間貸駐車場

PJ 株式会社パークジャパン

専務取締役 安西雅博 (昭和52年卒)

本社 〒150-0011 東京都渋谷区東2-22-14 ロゼ氷川5F
TEL:03 (5466) 1057代 FAX:03 (3406) 7093



山梨県立中央病院駐車場 / PFI事業

編集後記

この会報がお手元に届くころには、新元号が決まっていますと思います。

ある予想アンケートでは、平和が一番でしたが、略がHで平成と同じになるので違うと書いてありました。

さて、何になっっているでしょうか。

今、竹台高校は、体育館が解体されるなど、新校舎建設が着々と進んでいます。

約80年の歴史を誇るわが校ですが、過去に廃校の危機があった事を考えると、感無量の思いです。

ご尽力された方、どうもありがとうございます。

この時期に、新元号に代わるというのも、何かの縁を感じます。

後3年ほどで新校舎が完成する予定です。

校庭に屋上にプールがある新校舎を建設し、その後、旧校舎を取り壊し校庭となります。

旧校舎が残っているうちに、9月の若竹祭の時にでも、是非見学に行らして、新しく生まれ変わる過程の竹台高校を味わってください。

(酔猫)